

開港 150 周年記念テーマイベント～開国・開港 Y 150～について

1 これまでの主な取組経過

- 平成 19 年 7 月 23 日 記念コアイベント実施業務委託事業者選定
ベイサイドステージ：(株)博報堂 J V
ヒルサイドステージ：(株)アサツー ディ・ケイ
- 平成 19 年 10 月 11 日 記念テーマイベント（従来のコアイベント）名称・概要等発表
（600日前）
イベント名称：「開国・開港 Y 150」
イベントロゴマーク発表
会期：ベイサイドエリア 2009年4月28日(火)～9月27日(日)
ヒルサイドエリア 2009年7月4日(土)～9月27日(日)
- 平成 19 年 10 月 24 日 企業・団体に対する事業説明会（東京会場） 出席者：300社（350人）
31日 " （横浜会場） 出席者：120社（130人）
- 平成 19 年 10 月 25 日 記念事業マスコットキャラクター決定、愛称募集開始
- 平成 20 年 1 月 16 日 記念テーマイベントの進捗状況、マスコットキャラクター愛称等発表



イベントロゴマーク

2 ベイサイドエリアの進捗状況

(1) 海洋都市 Y シアター（大さん橋会場）テーマ：想像力の種

- ◆大さん橋ホールに約500人収容のシアターを設置し、横浜の「未来」や「旅立ち」をテーマとした、約20分の近未来ファンタジーアニメーション映画の上映を予定
- ◆映像プロデューサーに、ヨコハマ映画祭監督賞を受賞した日本を代表する映画監督、岩井俊二氏を起用
岩井俊二氏プロフィール：1963年1月24日生
1987年 横浜国立大学卒
代表作：「Love Letter」、「スワロウテイル」、「花とアリス」等
- ◆制作過程をWEBなどを通じて随時公開し、未来の横浜へのメッセージを市民のみならずと共有することにより、会期前からの期待感を高めながら作品として仕上げていく、新しい制作方法に取り組む予定

(2) Yokohama クリエイティブ・キッズ（新港会場）テーマ：創造力の種

スーパーハイビジョン（超高精細映像システム）による超大型映像シアターを設置し、会場テーマである「創造力の種」にちなんだ映像を上映

(3) Y150 はじまりの森（新港地区 8 街区会場）テーマ：横浜力の種

- ◆“横浜のはじめて”を体感できる映像・展示を中心に展開
- ◆コンセプトと基本構成

【森の交流広場】

- ・大型映像装置を活用した演出や展示
- ・広場空間で多彩なアートパフォーマンスを展開

【森の環境演出】

- ・樹木や森をイメージした構造体の採用
- ・木々の中を建築空間として活用し、森の広場機能も設置
- ・既存樹木を環境演出要素として活用、植樹や植栽で補完



「Y150 はじまりの森」会場イメージ

3 「市民参加センター（仮称）」の設置

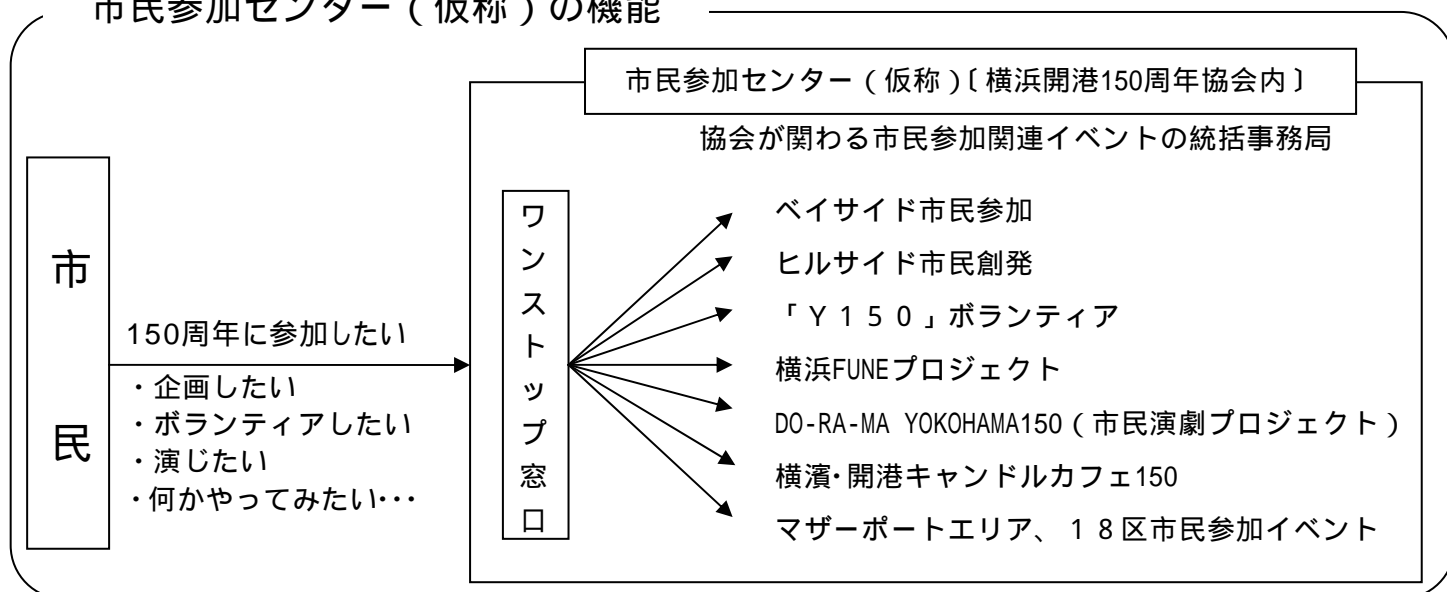
テーマイベント「開国・開港Y150」では、ベイサイドエリア・ヒルサイドエリアなどの各会場において、市民一人ひとりのアイデアを活かした、「市民が主役」の事業を展開する予定です。

また、テーマイベント会場内だけでなく、横浜市全域で開港150周年の盛り上がりの機運を高めるような取り組みについても、関係機関との連携により進めていきます。

このために、市民参加の受け皿として、来年度、開港150周年協会内に市民参加のためのワンストップ機能を備えた「市民参加センター（仮称）」を設置し、多様な市民参加のニーズに丁寧にわかりやすく対応していきます。

《参考》

市民参加センター（仮称）の機能



4 開港150周年記念事業マスコットキャラクター愛称決定

公募期間：2007年11月1日～28日

応募総数：4906点

受賞作品：《グランプリ》たねまる（受賞者4名）
《優秀賞》 いごまる（受賞者11名）
《佳作》 はまべい《受賞者4名》



たねまる

5 500日前カウントダウンイベント

- (1) 開港150周年記念事業マスコットキャラクターのデザイン・愛称表彰式
1月19日（土）11：45～12：15 会場：横浜駅西口高島屋前広場 仮設ステージ
- (2) カウントダウンボード点灯式（横浜駅西口振興協議会主催）
1月19日（土）11：30～ マスコットキャラクター表彰式に先立ち開催予定
- (3) ヒルサイドエリア「市民創発支援プログラム」がスタート
1月19日（土）～3月22日（土）計6回 会場：旧若葉台西中学校 参加者数：308名
- (4) 横浜FUNEプロジェクト・ワークショップ開催
1月19日（土）～20日（日） 会場：野島青少年研修センター 参加者数：約120名
- (5) マスコットキャラクター「たねまる」キャラバン隊
1月19日（土）表彰式終了後 マザーポートエリア（横浜駅～山下・山手地区）各所でPR活動を展開